



2023年3月期(第47期) 決算説明資料

証券コード:5217



1. 2023年3月期決算の概要

2. 2024年3月期業績予想

3. 参考資料

1. 2023年3月期決算の概要

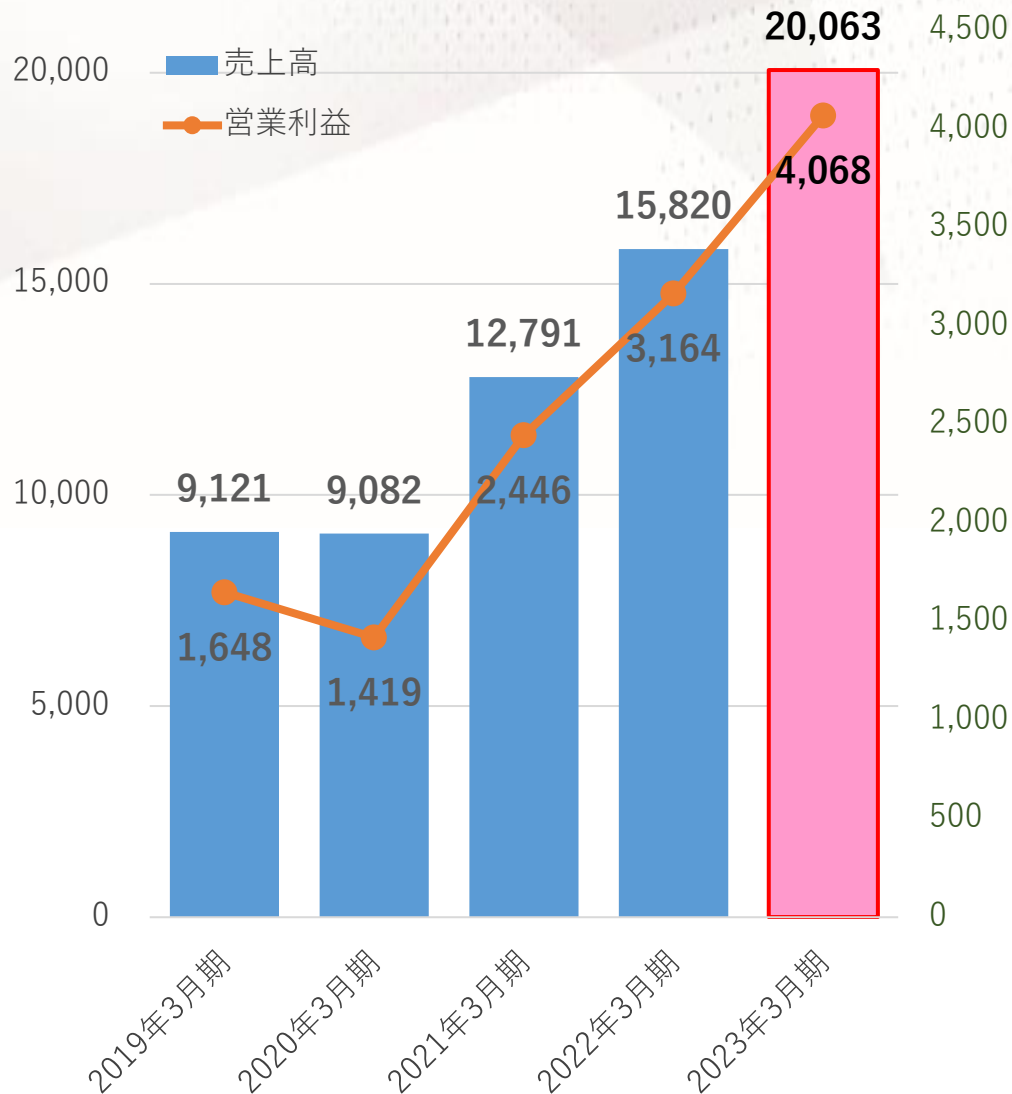
- (1) 業績ハイライト（連結）
- (2) 経営成績（連結）
- (3) 経営成績（単体）
- (4) 連結 四半期実績推移（過去3期比較）
- (5) B S の状況／自己資本比率（連結）
- (6) 売上推移（連結）
- (7) 設備投資額・減価償却費（連結）
- (8) 製品別売上高（連結）
- (9) 海外売上比率の推移（連結）
- (10) 配当金の推移



▲蔵王工場

1-(1)業績ハイライト (連結)

(単位：百万円)

営業利益率
20.3%ROE
19.5%売上高達成率
100.3%※2022/10/31発表の売上高予測20,000百万円に対して
(2022/5/10発表時点では17,000百万円)営業利益達成率
94.8%※2022/10/31発表の営業利益予測4,290百万円に対して
(2022/5/10発表時点では3,220百万円)

1－(2)経営成績（連結） 全ての項目において過去最高

（単位：百万円）

	2021年3月期 （第45期）		2022年3月期 （第46期）		2023年3月期 （第47期）	
売上高	12,791	40.8%	15,820	23.7%	20,063	26.8%
営業利益	2,446	72.4%	3,164	29.4%	4,068	28.6%
経常利益	2,368	60.0%	3,231	36.4%	4,354	34.7%
純利益	1,606	61.8%	2,200	37.0%	2,957	34.4%

注）％表示 対前期増減率

1－(3)経営成績（単体）

（単位：百万円）

	2021年3月期 （第45期）		2022年3月期 （第46期）		2023年3月期 （第47期）	
売上高	11,441	38.0%	13,887	21.4%	16,933	21.9%
営業利益	1,613	55.3%	2,243	39.1%	2,886	28.7%
経常利益	1,714	9.3%	2,497	45.6%	3,199	28.1%
純利益	1,173	△1.9%	1,732	47.7%	2,230	28.8%

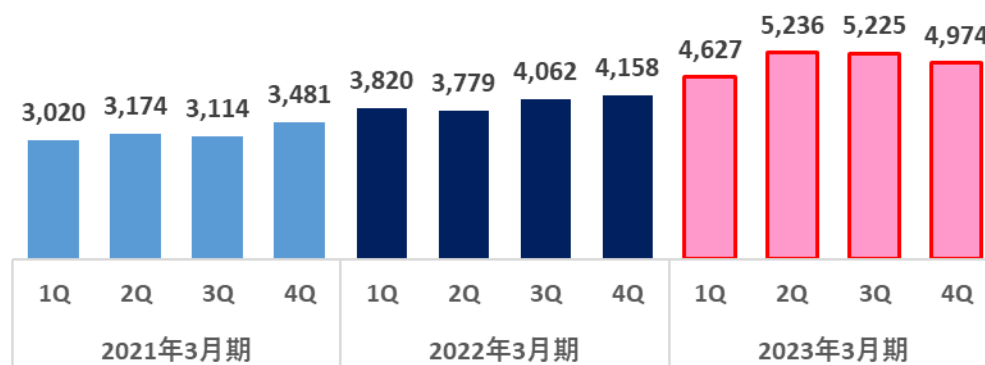
注）％表示 対前期増減率

1－(4) 連結 四半期実績推移（過去3期比較）

- ・ 四半期別では、市場の急激な冷え込みにより2023年3月期の4Qは3Qからダウンした。
- ・ 通期では売上高、営業利益とも順調に推移した。

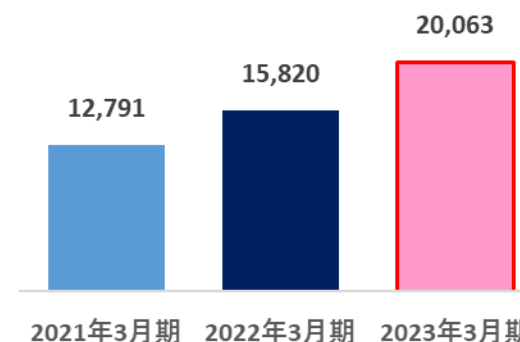
売上高推移（四半期毎）

（百万円）



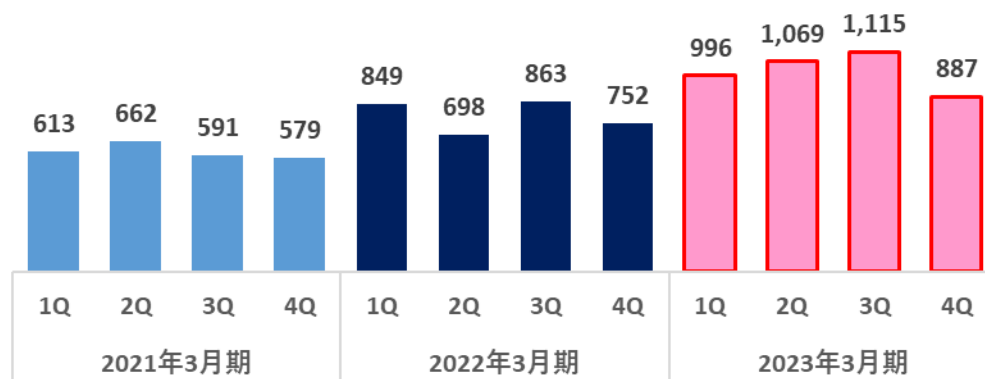
売上高（通期）

（百万円）



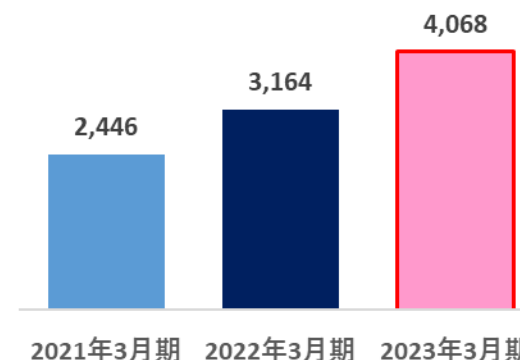
営業利益推移（四半期毎）

（百万円）



営業利益（通期）

（百万円）

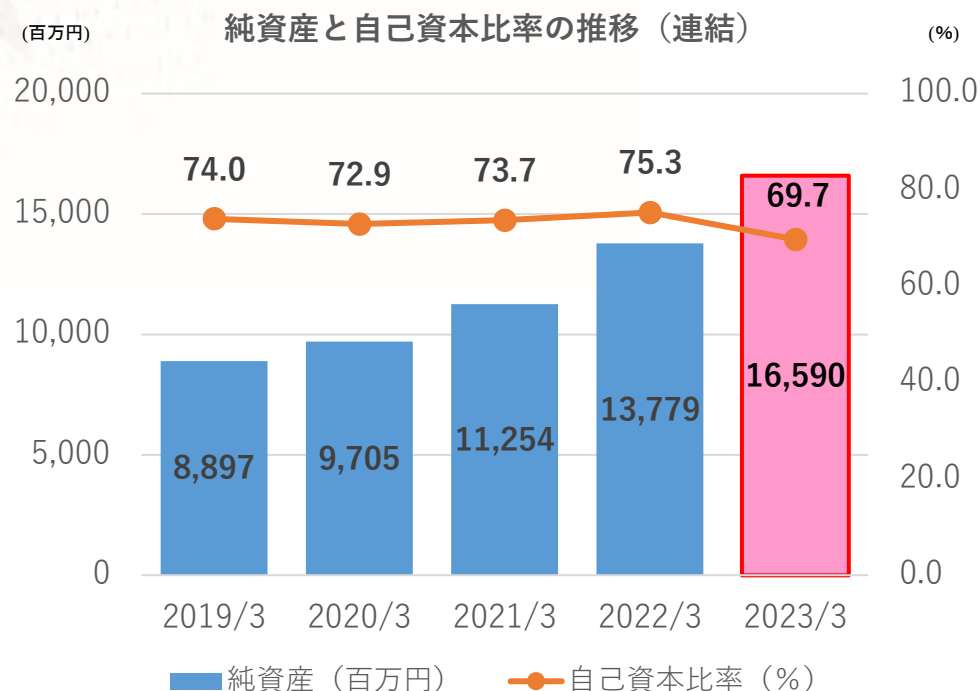


1－(5) B S の状況／自己資本比率（連結）

- ・純資産額は165億9千万円。自己資本比率は69.7%と高水準を維持。
- ・不測の事態に備え、財務の健全性を維持していく方針。

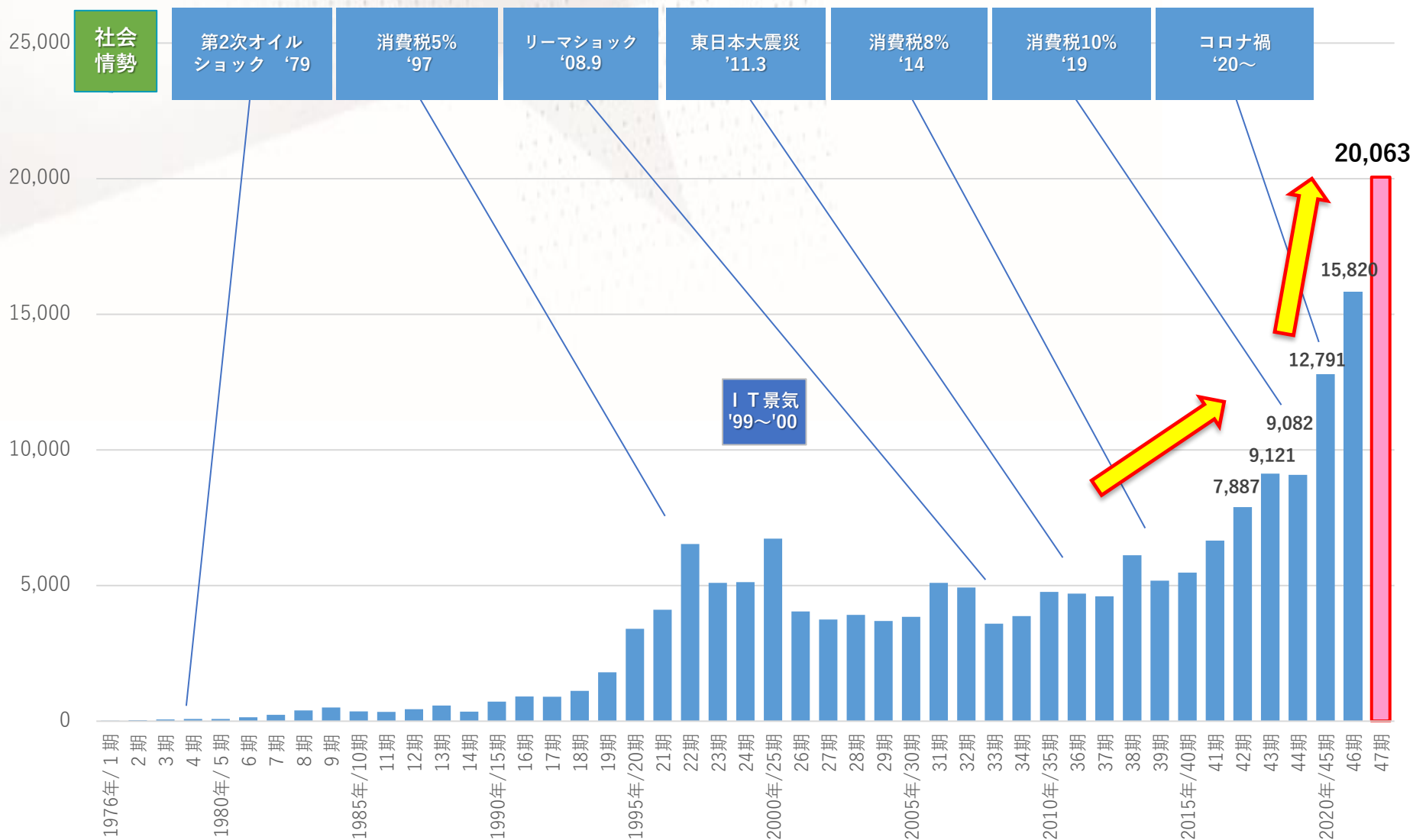
(単位：百万円)

	22年3月期	23年3月期	前期比増減
流動資産	10,783	14,346	3,562
〔現預金〕	2,999	3,446	447
固定資産	7,526	9,446	1,919
資産合計	18,310	23,792	5,482
流動負債	3,660	4,559	899
固定負債	871	2,643	1,772
負債合計	4,531	7,202	2,671
純資産	13,779	16,590	2,811
負債・純資産合計	18,310	23,792	5,482
自己資本比率（％）	75.3	69.7	△5.6



1-(6) 売上推移 (連結)

(単位：百万円)



1-(7)設備投資額・減価償却費（連結）

（単位：百万円）

	2019年3月期 （第43期）	2020年3月期 （第44期）	2021年3月期 （第45期）	2022年3月期 （第46期）	2023年3月期 （第47期）
設備投資額	954	491	1,156	2,425	2,210
減価償却費	539	573	590	608	936

◆アイシンテック株式会社完全子会社化

当社グループの事業基盤の更なる充実を図るため、高純度石英ガラスをはじめ結晶シリコン、セラミックス、金属などの加工技術に定評のあるアイシンテック株式会社の全株式を取得し、完全子会社化を実施。

【株式取得日】2022年7月22日（金）

【取得株式数】300株（議決権所有割合 100.0%）



▲アイシンテック株式会社

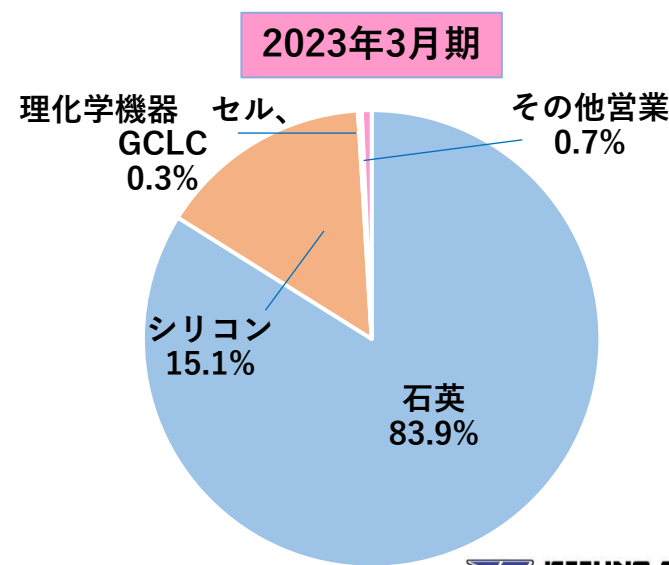
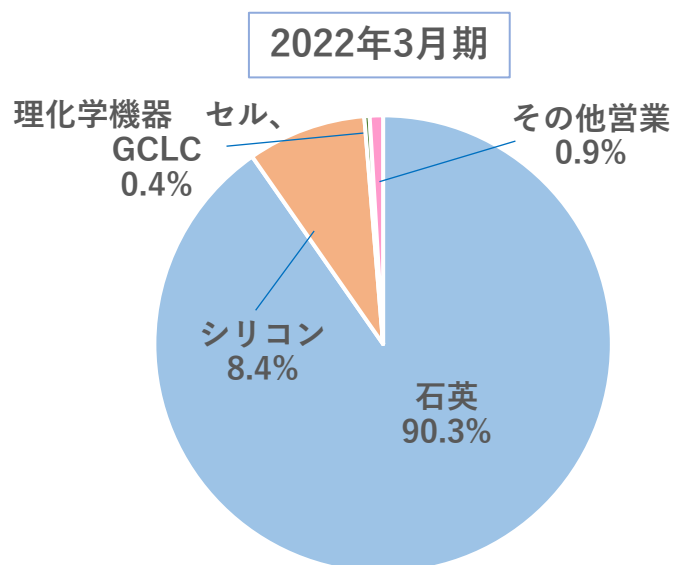


▲テクノクオーツ株式会社 取締役社長 園田育伸（左）
アイシンテック株式会社 取締役社長 富山真二（右）

1－(8)製品別売上高（連結）

（単位：百万円）

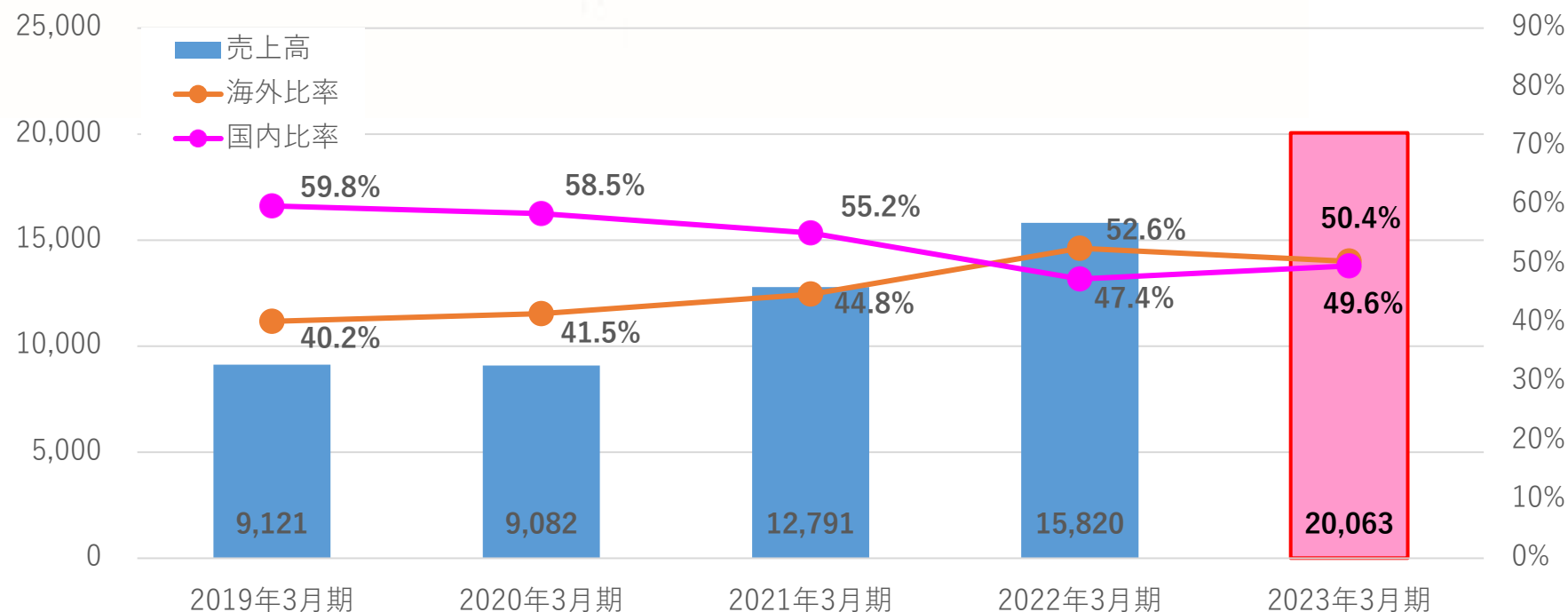
主要製品	2022年3月期 (第46期)			2023年3月期 (第47期)		
	売上高	構成比	前年比	売上高	構成比	前年比
石英	14,285	90.3%	127.1%	16,833	83.9%	117.8%
シリコン	1,327	8.4%	96.1%	3,038	15.1%	228.9%
理化学機器 セル、 GCLC	59	0.4%	110.6%	54	0.3%	92.1%
その他営業	149	0.9%	127.8%	138	0.7%	92.4%
総計	15,820	100.0%	123.7%	20,063	100.0%	126.8%



1-(9) 海外売上比率の推移(連結)

(単位: 百万円)

区 分	2019年3月期 (第43期)		2020年3月期 (第44期)		2021年3月期 (第45期)		2022年3月期 (第46期)		2023年3月期 (第47期)	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率	合計	比率	合計	比率
国 内	5,453	59.8%	5,317	58.5%	7,059	55.2%	7,502	47.4%	9,956	49.6%
国 外	3,668	40.2%	3,765	41.5%	5,731	44.8%	8,317	52.6%	10,107	50.4%
合 計	9,121	100.0%	9,082	100.0%	12,791	100.0%	15,820	100.0%	20,063	100.0%

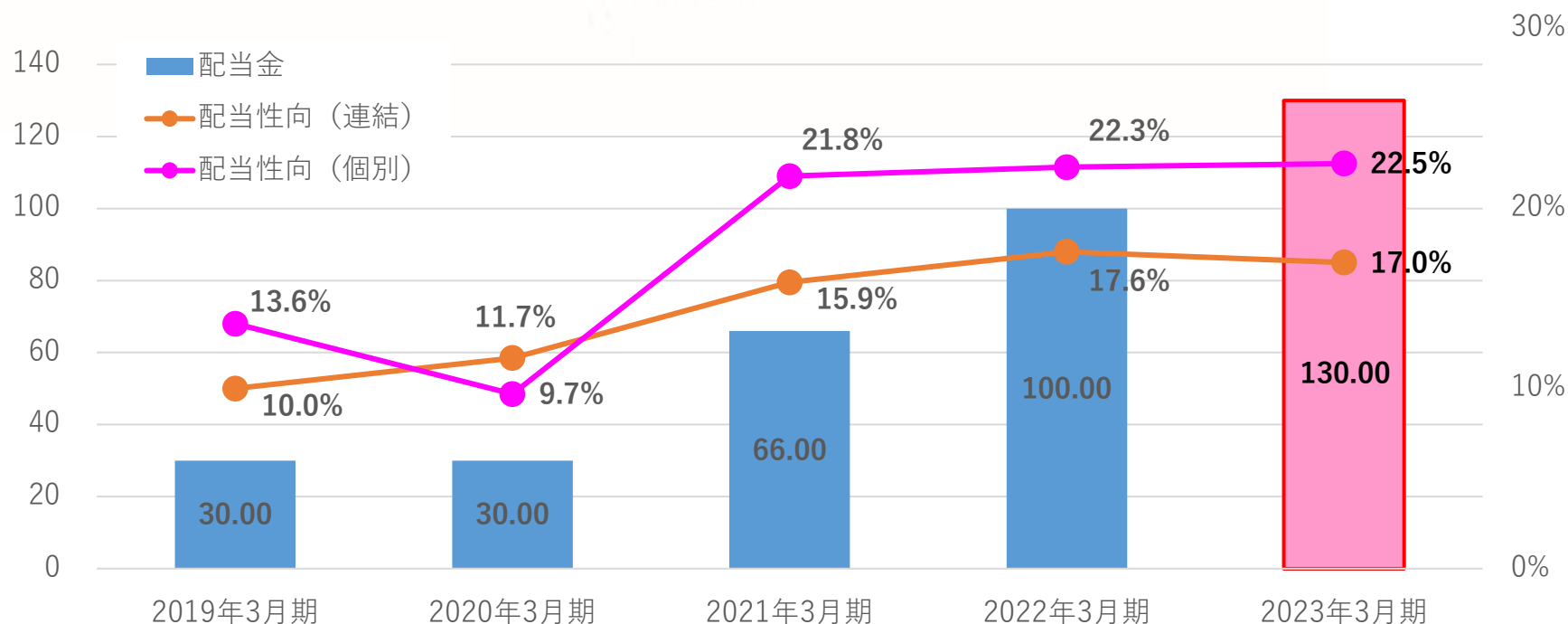


1－(10)配当金の推移

(単位：円)

	2019年3月期 (第43期)	2020年3月期 (第44期)	2021年3月期 (第45期)	2022年3月期 (第46期)	2023年3月期 (第47期)
1株当たり配当金	30.00	30.00	66.00	100.00	130.00
配当性向 (連結)	10.0%	11.7%	15.9%	17.6%	17.0%
配当性向 (個別)	13.6%	9.7%	21.8%	22.3%	22.5%

(注) 1株当たりの配当額は、2022年10月実施の株式分割後の金額に修正しております。



2. 2024年3月期業績予想

(1) 半導体市場予測 【出所：WSTS2022秋季半導体市場予測】

①世界の地域別半導体市場規模

②世界の地域別半導体市場予測

(2) 2024年3月期 計画（連結）

(3) 製品別売上高 計画（連結）

(4) 海外売上比率の推移と計画（連結）

(5) 今後の取り組み

①市況回復を見据えた準備

②アメリカの対中国輸出規制への対応

(6) 投資計画



▲蔵王南工場

2-(1)半導体市場予測 ①世界の地域別半導体市場規模

(単位：億米ドル)

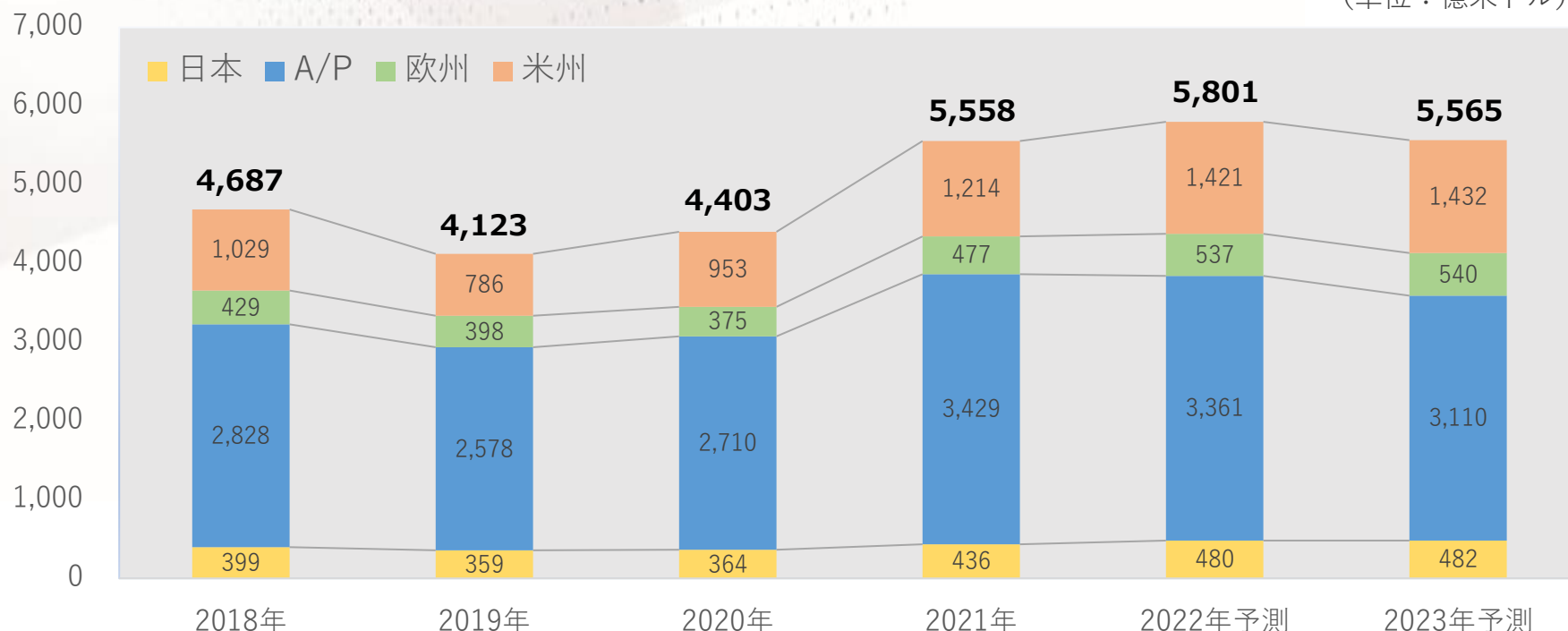
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年 予測	2023年 予測
米州	687	655	884	1,029	786	953	1,214	1,421	1,432
欧州	342	327	383	429	398	375	477	537	540
A/P	2,010	2,083	2,488	2,828	2,578	2,710	3,429	3,361	3,110
日本	311	322	365	399	359	364	436	480	482
合計	3,351	3,389	4,122	4,687	4,123	4,403	5,558	5,801	5,565
前年比	99.8%	101.1%	121.6%	113.7%	88.0%	106.8%	126.2%	104.4%	95.9%

※「A/P」とはアジア太平洋の略

資料：WSTS 2022年秋季半導体市場予測

2-(1)半導体市場予測 ②世界の地域別半導体市場予測

(単位：億米ドル)



世界半導体市場について

- ◆ 2021年の半導体市場は前年比26.2%増とコロナ特需で急成長
- ◆ 2022年は年初こそ2021年の勢いを維持していたが、徐々に特需が終わり、世界的なインフレ、ロシアのウクライナ侵攻の長期化などに伴う個人向け電子機器需要の低迷などを背景に、市場成長率は同4.4%増の5,801億2,600万ドルに留まると予測
- ◆ 2023年についても、自動車のエレクトロニクス化や再生エネルギー関連投資などが下支えするものの、前半は2022年後半からの市況悪化の影響が継続することが見込まれることから、通年でも同4.1%減の5,565億6,800万ドルと、2019年以来、4年ぶりのマイナス成長を予測

資料：WSTS 2022年秋季半導体市場予測

2- (2) 2024年3月期 計画 (連結)

- ・ 半導体業界は、2023年度前半は、非常に厳しいマーケット環境と予測
- ・ 2023年度後半は、徐々に回復すると見込む
- ・ アメリカの対中国輸出規制について、今後の動向を注視しつつ柔軟に対応
- ・ 2023年度は来るべき需要に備えた基盤作りの年と捉え活動

(単位：百万円)

	第2四半期		通期	
売上高	9,310	△5.6%	19,000	△5.3%
営業利益	1,770	△14.3%	3,660	△10.0%
経常利益	1,770	△24.1%	3,650	△16.2%
純利益	1,240	△19.1%	2,570	△13.1%

※2023年3月期決算短信の公表値

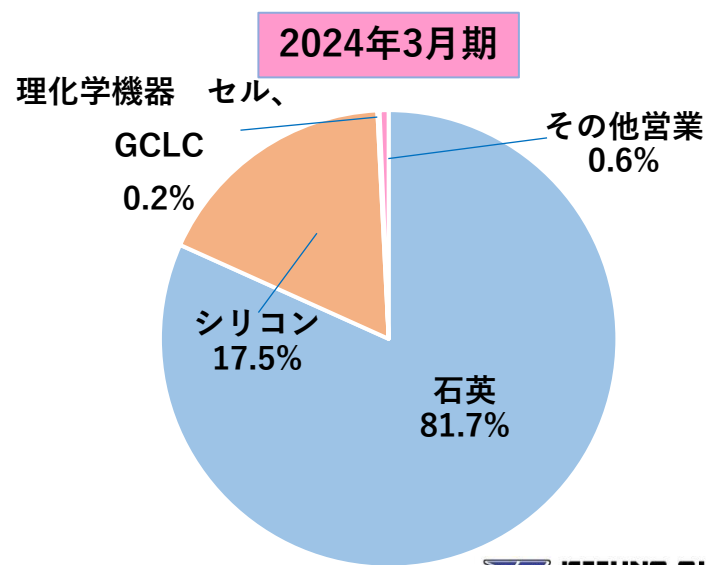
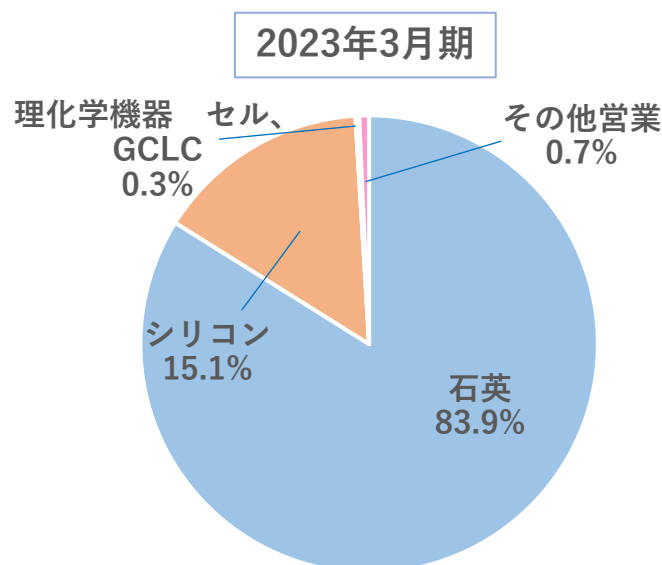
注) %表示 対前期増減率



2-(3)製品別売上高 計画 (連結)

(単位：百万円)

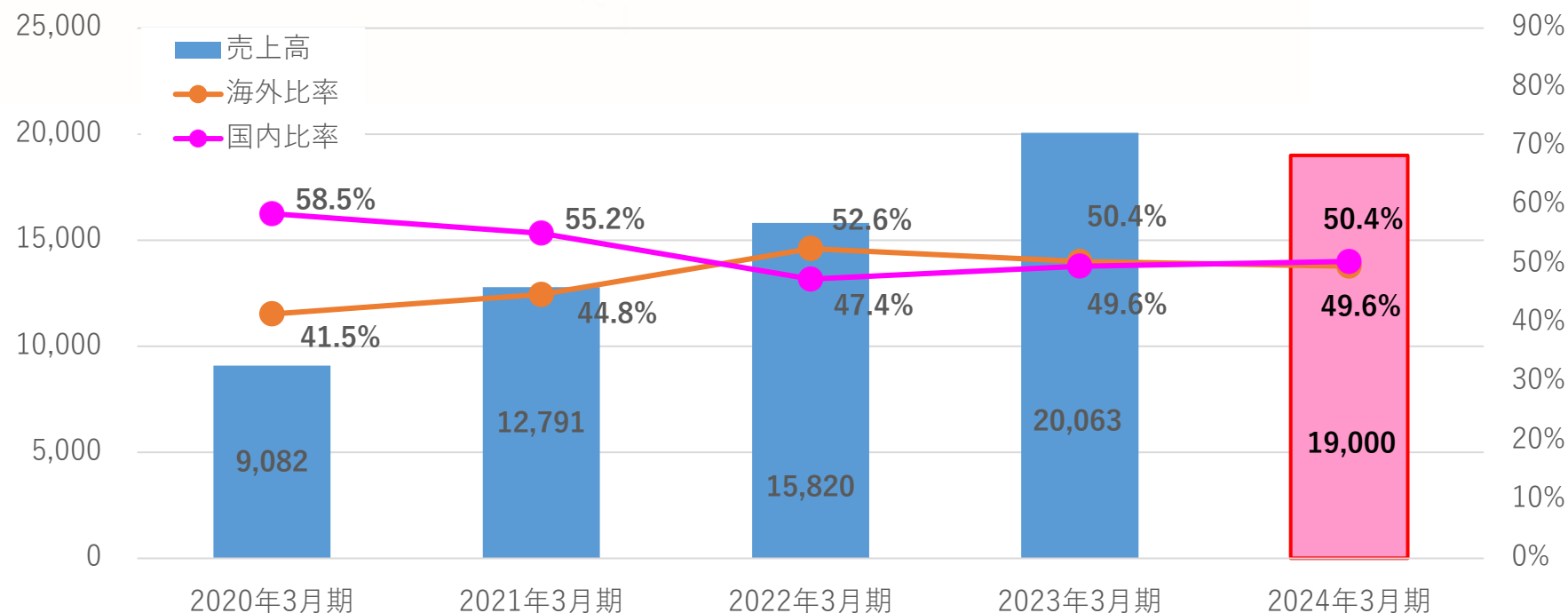
主要製品	2023年3月期 (第47期)			2024年3月期 (第48期)		
	売上高	構成比	前年比	売上高	構成比	前年比
石英	16,833	83.9%	117.8%	15,530	81.7%	92.3%
シリコン	3,038	15.1%	228.9%	3,320	17.5%	109.3%
理化学機器 セル、 GCLC	54	0.3%	91.5%	30	0.2%	55.6%
その他営業	138	0.7%	92.6%	120	0.6%	87.0%
総計	20,063	100.0%	126.8%	19,000	100.0%	94.7%



2-(4) 海外売上比率の推移と計画(連結)

(単位：百万円)

区 分	2020年3月期 (第44期)		2021年3月期 (第45期)		2022年3月期 (第46期)		2023年3月期 (第47期)		2024年3月期 (第48期)	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率	合計	比率	合計	比率
国 内	5,317	58.5%	7,059	55.2%	7,502	47.4%	9,956	49.6%	9,576	50.4%
国 外	3,765	41.5%	5,731	44.8%	8,317	52.6%	10,107	50.4%	9,424	49.6%
合 計	9,082	100.0%	12,791	100.0%	15,820	100.0%	20,063	100.0%	19,000	100.0%



2-(5)今後の取り組み

①市況の回復予想



- ✓ 5G通信やIoT、AI/ディープラーニング、自動運転の本格化等でデータ量の更なる増加も見込まれることから、今後も半導体不足が想定され、中長期的に半導体需要拡大のトレンドは継続していくものと予想される
- ✓ 市況回復を見据えた各メーカーの先行的な投資活動は継続方向にある
- ✓ 世界各地域で半導体に対する政府補助を伴う計画が進められるなど、今後とも半導体市場は底堅い潜在需要を背景に着実な拡大が見込まれる
- ✓ コロナを契機に世界的なリモートワークの広がり、データセンター等におけるメモリー需要の高まりなどプラス要因は持続すると見込まれる

2-(5)今後の取り組み

②アメリカの対中国輸出規制への対応

- ✓ 対中輸出規制の動向を注視した、柔軟な対応
- ✓ 当社中国子会社工場でのアメリカ向け生産分の、日本生産体制の構築
- ✓ 新工場建設プロジェクトの発足準備（蔵王南工場隣接地など）
- ✓ 新たな製造拠点の開発に向けての活動開始
- ✓ 中国国内での販売先の新規開拓活動



2-(6)投資計画

国内における増産体制構築のための設備投資実行

- ✓ 蔵王南工場隣接地（9,023m²）の活用
- ✓ アイシンテック隣接の新規土地取得予定（福島県喜多方市 綾金工業団地内）
- ✓ 上記以外に、新たな土地の取得および工場建設の活動

※ 投資総額については、未定



蔵王南工場の隣接地(新工場建設予定地)

アイシンテック 喜多方工場



3. 参考資料

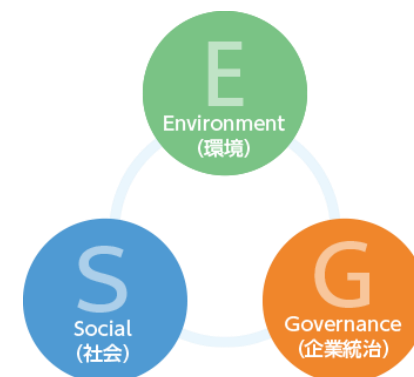
- (1) ESG経営への取り組み
- (2) SDGsへの取り組み
- (3) 山形テレビ「ヤマガタSDGsミライラボ」への番組協賛
- (4) 健康経営への取り組み



3－（１）ESG経営への取り組み

テクノクォーツ株式会社は、より良い社会の形成と企業の持続可能な発展のため、ESGの3つの要素である、環境（**Environment**）、社会（**Social**）、ガバナンス（**Governance**）に対する社会の期待や要請に「誠実」かつ「真面目」に取り組み、ステークホルダーとの対話を通じて深化させていきます。

- ・「**環境**」製品開発については設計段階から環境影響を考慮した活動を行っており、資材調達については調達方針に基づいて環境配慮の調達による循環型社会形成への貢献に努めてまいります。地球環境の保全に重要な役割を担っていることを自覚し、企業活動を進めてまいります。
- ・「**社会**」 永久スローガン「道は一つ、共に進もう」を合言葉に、真に社会性のある企業を目指して成長してまいりました。『創立の根本精神及経営理念』の中で、「利益は、会社、株主、社員、社会に公正に分配する」とし、ESG経営やステークホルダー経営に通じる経営観を持っております。
- ・「**企業統治**」コンプライアンス及びリスク管理に対する重要性の認識を基に、当社グループ企業全体が一体となって、コーポレート・ガバナンスの向上に向けた取り組みを行っております。当社及び当社グループは、社会と共に発展していく道を着実に歩んでおります。



3－（２）SDGsへの取り組み

当社の主な事業領域である“半導体事業”は、SDGsの目標を達成するために欠かせない要素技術です。長年の経験と確かな技術を基に、半導体製造装置に欠かせない画期的な製品を開発し、半導体製造装置メーカーへの販売、サポート活動を通じて、様々な環境問題や社会課題の解決に貢献していきます。

また、SDGsは社会全体で共有・連携して持続的な社会を実現するために設定された目的ですが、これは「社会性を十分に発揮しながら社員の幸福を勝ち取り、維持・発展を目指す」という当社の経営理念と、ESG経営の延長線上に位置づけられるものです。

当社は本業の半導体事業を中心に、ひとつでも多くのSDGsゴールの達成に寄与できるよう邁進します。



当社の取り組み内容についてはホームページをご覧ください。 (<https://www.techno-q.com/company/sdgs/>)

3－（3）山形テレビ「ヤマガタSDGsミライラボ」への番組協賛

当社は、SDGsの視点で探究する学生が山形県内のSDGs推進企業を訪問し、ローカルSDGsの取り組みから「山形のミライ」を探究する山形テレビの番組に協賛しています。

当社の製造拠点が山形にあることから、山形地域とともに歩む企業として、地域のSDGs認知を高め、地域におけるSDGsの取り組みを支援し、また地域とともに行動することで、地域社会の未来を創造してまいります。



テレビ局 山形テレビ（Y T S）

放送時間 毎週水曜日 23時10分
【再放送】 毎週土曜日 11時25分

番組については山形テレビのホームページをご覧ください。 (<https://www.yts.co.jp/sdgs/mirailab/>)

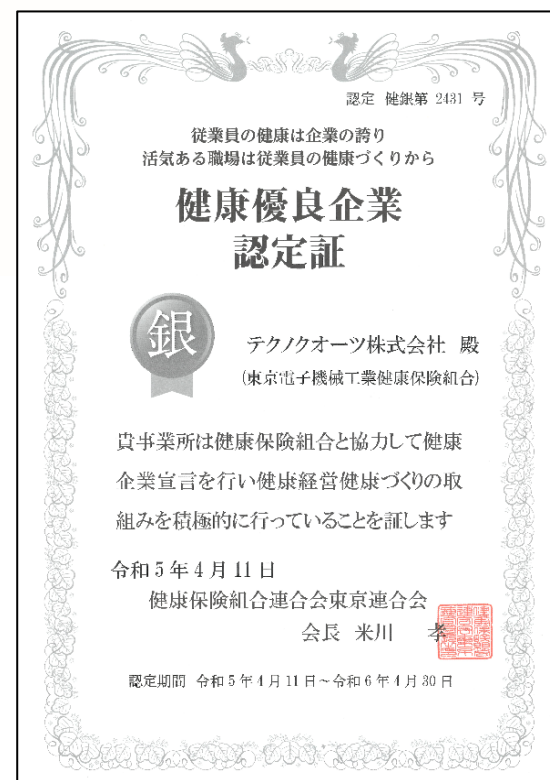
3－（４）健康経営への取り組み

2023年4月11日、「健康経営」に積極的に取り組んでいる事業所として、健康保険組合連合会東京連合会から「健康優良企業」に認定されました。

生産性の向上や組織の活性化を目指し、今後もさらなる健康づくりや働きやすい環境づくりの取り組みを推進してまいります。

【取組内容】

- ・ 健康診断（人間ドック）オプション検査費用補助の拡充
- ・ 全工場、全営業所に健康器具の設置
- ・ 業務時間内での特定保健指導受診
- ・ 健康に関する情報の社内周知





テクノオーツ株式会社

〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2
ハーモニータワー

TEL: 03-5354-8171

FAX: 03-5354-8191

<https://www.techno-q.com/>

【免責事項】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があることをご了承ください。